

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2021年1月改訂)

資料1

開設	体制基盤	情報基盤・発信	2020年度予定実施状況										
			委員会					事業					連携
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数)	①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定)	ウェブサイト用固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メールマガジン・メルマガ ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別(facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程(あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和2年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等
北海道地方ESD活動支援センター	①平成29年9月29日(金)	北海道地方ESD活動支援センター企画運営委員会(10名)	①久保田学 ②小路楓	なし	なし	①EPO・センター合同 ②平成30年6月 ③5,000部 ④予定なし	①EPO北海道メルマガに併設 ②毎週火曜日 ③1,672名 ※12月末日時点	①facebook ②945 ※12月末日時点	第1回 5/29(金) 第2回 2021/1/15(金)	・ESD担い手ミーティングとして、「北海道メジャーグループ・プロジェクト2020」全体ミーティングを、プロジェクト実行チームとともに共催した(オンライン12/12、参加者48人)。 ・「学び合いフォーラム」として、「北海道メジャーグループ・プロジェクト2020」の分科会的な位置づけである「ユースグループ・ミーティング」(オンライン5回、参加者18人)を主催した。	・コロナ禍における対応と今後について、地域ESD拠点18か所に対しヒアリングを行った。 ・ESDの活動を支援するアドバイザーを別海町立上西春別中学校(オンライン1/12)の教員15人に対してオンラインで派遣した。	・引き続き「RCE北海道道央協議会」に参画し、(独)環境再生保全機構の事業に対しても協力を行った。 ・SDGsの伝え方勉強会(オンライン11/27、参加者22人)を札幌市、北海道と共催した。	・SDGs/ESDに関する相談(109件)に対応し、それに基づく出前講座(19件)を行った。
東北地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年9月1日(金)	東北地方ESD活動支援センター企画運営委員会(8名)	①井上郡康 ②鈴木美紀子/チーフ	済	なし	①センター専用→EPO・センター合同に改定 ②平成30年3月改定版:2019年10月中に印刷予定 ③4,000部 改定版:2,000部 ④増刷予定なし	①EPO東北メルマガに併設(2019年9月開始) ②月2回 ③1,169名	なし	第1回 7月(予定) 第2回 3月(予定)	東北ESD/SDGsフォーラム2020 「みちのこSDGs～東北からつなごうSDGsの輪～」 2021/1/31(日)13:00-15:30 YouTube配信	■ESDネットワーク会議 2021/2/20(土) オンライン会議 ※ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアムとの共催  ■ESD推進・地域研修会 ・八戸工業大学第二高等学校科学愛好会・青森県立青森高等学校自然科学部意見交換会 ・階上町立道仏小学校 総合的な学習「SDGs授業」「校内研究」 ・青森県内中・高等学校におけるキリバス講話	・ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム ・気仙沼市教育委員会 ・福島県観光物産交流協会 ・いわきユネスコ協会 ・仙台ユネスコ協会 ・八戸工業大学第二高等学校 生徒向けSDGs勉強会の開催 ・一般社団法人あきた地球環境会議 ・山形県教育センター ・鹿角地域振興局	・秋田県立北鷹高校より高校2年生および職員向けSDGs学習会の相談あり。4/22開催を予定していたが延期とし、改めて日程調整を行う予定。【中止】 ・SDGsチャットルーム(主催/一般社団法人あきた地球環境会議)の連携 ・気仙沼市教育委員会、気仙沼ESD/RCE推進委員会主催事業の共催 ・仙台ユネスコ協会 主催事業の共催
関東地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年7月3日(月)	関東地方ESD活動支援センター企画運営委員会(11名)	①島田幸子 ②伊藤博隆	済	済	①センター専用 ②令和3年3月(予定) ③検討中(リアルな配布機会減少のため)	①センター専用 ②月1回発行(2017年7月開始) ③1,867部	①facebook ②417人	第1回 6月 第2回 3月(予定)	・関東ESD推進ネットワーク 第4回地域フォーラム ○日時:令和3年1月24日(日)13:00~17:00 +懇親会(17:15~18:15) ○会場:オンライン(zoom) SDGs文化祭参加者に、取り組みについて発表してもらい、各分野で活動する実践者との対話を実施 ・SDGsを絵本で“伝える”チーム :上田 壮一 氏(一社Think the Earth) ・国内の外国人支援チーム :大野 寛 氏(茨城NPOセンター・コモンズ) ・エコファッションチーム・植月 友美 氏(Enter the E(株)社長)	・県域を対象としたESD推進セミナー 関東地方ESD活動支援センター 地域意見交換会in山梨(3/7を予定)	【地域ESD拠点】 ・(一社)ESD TOKYO ・立教大学ESD研究所 ・成蹊学園サステナビリティ教育研究センター ・聖心女子大学グローバル共生研究所 ・筑波大学付属坂戸高校 ・伊豆半島ジオパーク推進協議会 教育部会	・SDGs文化祭を本年度も実施(web開催) 6/28キックオフ 8月 2nd session 10月 3rd session 11/15 文化祭 12月 振り返り  ・地域ESD拠点 研修会 2/25開催予定  ・地域ESD拠点に、地域でのSDGs関連の取り組み調査を依頼予定
中部地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年7月3日(月)	中部地方ESD活動支援企画運営会議(6名)	①統括:清本 三郎、担当責任者:原理史 ②富田夏子、小松朋美	済	済	①EPO・センター合同 ②2020年3月 ③配布部数500部 ④9月に500部増刷、2月に500部増刷予定	ESDセンターとしてはなし(EPOメルマガで兼用配信)	①facebook(当面、主催・関連イベント等のお知らせ投稿のみに限定) ②64人	第1回:6月5日(オンライン) 第2回:1月20日(オンライン)	●ESD推進ネットワーク地域フォーラム 【日時】2月14日 【開催方法】オンライン 中部のSDGs未来都市の自治体職員、大学生による取組発表とトークセッションを実施予定。	●前年度完成した「SDGsチェックリスト」及びワークショップパッケージを活用するファンリレーター養成講座を6月にオンラインで開催。その後、講座参加者3名による企画でワークショップを開催。その他自治体職員向けセミナーなどで活用。 ●岐阜県主催の親子向けエコツアーをフィールドに旅行会社と共同で学生等を対象としたコンテンツを作成・検証、発行予定。	●毎年開催しているユネスコエコパークをテーマにしたESDダイアログとして、「白山から発信!ユネスコエコパークを活かしたESD/SDGsの実践を考える」を、11月15日にオンライン開催。	●SDGs未来都市となった名古屋市との連携事業として、テーマ①地域循環共生圏とSDGs、テーマ②コミュニティづくりで、地域住民向けワークショップを11月14日に開催。 ●愛知県発注「愛知県環境学習コーディネーター業務」(EPO中部継続業務)として、学校や自治体等Oが出前講座を行う際の企業・NPO等による講師のコーディネートを実施(5件)。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
情報提供・交換	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託

11 戦略協働 戦略協働 共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略会議など)を行う形態\*  
 12 政策協働 政策協働 共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態\*

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2021年1月改訂)

資料1

	開設	体制基盤	情報基盤・発信	2020年度実施状況									
				委員会	事業	連携							
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数)	①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定)	ウェブサイト用固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別(facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー件数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程 (あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和2年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等
近畿地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月28日(金)	近畿地方ESD活動支援センター企画運営委員会(10名)	①上野浩文(事業統括) ②藤田尚典、中澤敦子	済	なし(検討予定)	①センター専用 ②2019年3月 ③1,500部 ④予定なし	ESDセンターとしてはなし(イベント告知はEPOメルマガにて発信可)	—	第1回 5月18,20日 第2回 2月3日	・近畿ESDフォーラム2020年度(2021年1月9日(土)、オンライン) 「レジリエントで持続可能な社会」の創造を目指して～地域資源から学び、グローバルな視点を育むアプローチを探る～ 一参加者 第1部70名、第2部45名 一フォーラム内で地域ESD拠点登録団体の活動発表の場を設置 ・同フォーラムに先立ち、(和歌山県立向陽高等学校を対象に、モデル的なESD指導案作成・実践に向けた伴走支援の実施。 一ESDの実践に向けた検討会「学校と地域資源・人材の連携による取組」の開催(12/1)	・全国センター主催連絡会への出席 ・全国フォーラムへの出席、分科会の運営 ・地域でESDを推進する拠点のニーズの把握(ヒアリング4件)→学校教員のESD推進を応援する拠点レポートの形で近畿EDセンターWebsサイト「センターお知らせ」に掲載 ・地域ESD活動推進拠点の登録及び支援 ・ESD活動に関する相談・助言支援及び情報収集等 ・近畿ESDセンターWebサイトの運用等 ・府県政令市教育委員会事務局および環境部局への訪問(近畿ESDセンター事業に係る情報共有等)	・モデル的なESD指導案作成・実践に向けた伴走支援では、地域ESD拠点である近畿ESDコンソーシアムと連携した。 ・地域フォーラムでは、地域ESD拠点の発表の機会を設け、連携した。 ・地域ESD拠点>大阪環境カウンセラー協会、花王エコーポミュージアム、近畿ESDコンソーシアム ・地域フォーラムでは、多様な校種を対象として事例紹介を行った。 ・幼稚園・学校>奈良教育大学附属幼稚園、京田辺シュタイナー学校、東海大学付属大阪仰星高等学校・中学部	ESDフォーラム2019年度の成果報告を中心とした冊子を作成し、多様な主体が連携する地域を教材とした授業づくりに向けた普及啓発に活用している(普及啓発冊子の作成は2017年度より継続)。冊子作成においては、複数の学校教員並びに団体等の取材実施および原稿をいただいた。
中国地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	中国地方ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①松原裕樹 ②清長真紀	済	済	①EPO・センター合同 ②2017/12/18 ③3,000部 ④予定なし	①メールマガジン(EPO・ESDセンター合同) ②月2回発行 ③932部	①facebookページ ②232名	第1回 2020年6月5日(金) 第2回 2021年2月22日(月)	①広島県SDGsセレクトブック制作プロジェクト2020 ・キックオフミーティング(2020年8月18日(火)@広島県広島市) ・フォローアップミーティング(2020年8月25日(火)@Web開催) ・大学生アイデア意見交換会(2020年10月17日(土)@広島県広島市) ・大学生対談(2020年12月1日(火)@広島県広島市) ・お披露目&振り返り会(2021年2月3日(水)@Web開催予定) ②ESD学びあいフォーラム「新聞から読みとくSDGs-知る、深める、伝える-」(2020年12月12日(土)@広島県広島市)	・相談・支援窓口 ・情報収集・発信 ・地域ESD拠点の登録推進 ・地域ESD拠点の活動支援(機能強化、活動状況やコロナ禍の影響に係るヒアリング、水平展開に向けた支援) ・その他、ESD関連イベント・会議等への出席	中国5県の間支援組織(NPO支援センター、環境学習センター、温暖化防止活動推進センター等)/山陰中央新報社/新日本海新聞社/伯耆町立二部小学校/山陽新聞社/広島県/JICA中国/国立江田島青少年交流の家/安田女子大学/安田女子中学・高等学校/広島県立三次高等学校/広島県立安西高等学校/広島県立賀茂高等学校/廿日市市立吉和小・中学校/北広島町立大朝中学校/中国新聞社/広島県NIE推進協議会/一般社団法人one dream/日本NIE学会/朝日新聞社(CSR推進部)	①四国地方ESDセンターとの連携 ・四国ESDセンター運営委員会出席(2020年6月17日(水)@Web開催) ・ユース世代等交流会へトビタテ! 四国のローカルSDGs~参加(2020年8月29日(土)@Web開催)
四国地方ESD活動支援センター	①平成29年7月1日(土) ②平成29年7月3日(月)	四国ESD活動支援センター運営委員会(14名)	○センター長:近森憲助 ①統括:竹内よし子 ②事務局長:宇賀神幸恵、事務局:菟田裕一	済	なし	①センター専用 ②平成29年10月より印刷開始 ③7,000部	①センター専用 ②月1回発行(平成29年11月より開始) ③約700件	①facebook(四国EPOのアカウントで投稿) ②580件(四国EPOフォローア)	第1回 6/17(水) 第2回 2~3月頃	・ユース世代等取組交流会 8月29日(土) ・ESD推進ネットワーク四国地域フォーラム3月14日(日)予定(愛大・ESDラボ合同開催)	・かがわ国際フェスタ出展 10月17日(土)~23日(金) ・地域ESD拠点交流会 11月26日(木) ・ESD全国フォーラム協力 12月19日(土) ・LS四国(ローカルSDGs四国)分科会設立 ・ESD活動に関する相談・支援(月平均5件) ・ESD活動に関する国内外の情報収集・発信(ホームページ掲載月平均11件、メールマガジン・フェイスブック月平均1回配信)	新居浜市教育委員会・ESD推進事業協議会(四国におけるグローバル人材の育成に向けたESD地域モデル推進事業) 宇和島NPOセンターとの連携(企画運営アドバイザー) 松山市(SDGs連携) 愛大・ESDラボ(愛媛大学) 四国四県の大学 その他登録拠点	RNC西日本放送ラジオ出演(月1回)による情報提供 中国四国ESDセンター協働・相互参照(イベント相互視察、運営委員会出席) 四国各県教育委員会面談 7月~8月 善通寺第一高等学校(探求学習支援) 少年教育指導者セミナー(講師協力) 高松市消費者団体連絡会研修(講師協力) ガールスカウト香川県連盟(活動支援) 香川県家庭クラブ(講師協力)
九州地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	九州地方ESD活動支援センター企画運営委員会(EPO九州運営委員会の分科会)	①瀧 克彦 ②勝家 伸男、長峰 秀幸、坂本 紀子	済	済	①EPO・センター兼用 ②H30.3.30 ③10,000部 ④9月アップデート済	①EPO九州メルマガの一部 ②月2回発行 ③約700件	①Facebook ②493 ①instagram ②66	第1回8月13日実施 第2回2月16日予定	地域学び合いフォーラム:10月31日 Withコロナの状況に関する地域ESD拠点3団体から情報提供。 (福岡NGOネットワーク・NPO法人くすの木自然館・公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金) 専門家ネットワーク構築 島しょESD活動オンライン意見交換 (3月) ESD拠点間連携オンライン意見交換 (3月)	既存センターリーフレット(EPO併用)のアップデート。相談対応・情報発信 地域ESD拠点の九州・沖縄8県への複数登録にむけた呼びかけ 一鹿児島県からの登録で達成 地球環境基金 ユース環境活動連携	自治体・教育委員会との連携 ・宮古島市 (ESD推進の検討支援) ・北九州市 (ESDアクションプラン検討、SDGsアワード) ・大崎町(場づくり連携) 学校関係 ・菊池市立菊池南中学校(国研 ESD研究指定) ・熊本市立城南中学校(カリキュラム相談) ・熊本県立菊池農業高校 ・慶誠高等学校 長峰町立村城南高等学校	全国フォーラムにて、ESDとレジリエンスをテーマに ・RQ広島、RQ九州 ・田舎の体験交流施設さんがららと連携し分科会運営。
ESD活動支援センター(全国センター)	①②平成28年4月22日(金)	ESD活動支援企画運営委員会(9名)	①大西亮真 ②川村研治	済	済	①センター専用 ④増刷予定なし	なし	調査中	第1回 7/27(月) 第2回 未定	●ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020【開催日】2020年12月19日(土) 【会場】オンライン 【参加者数】445名(延べ人数)	●ESD活動に関する相談・支援 ●ESD活動に関する国内外の情報収集・発信 ●ESD推進ネットワークの形成・強化支援、可視化(地域ESD拠点の登録事務連絡調整(通年)、年次アンケート調査等) ●全国規模のESD推進団体との協力関係構築 ●ESD関連行事への後援(通年) ●ESD推進ネットワークを活用した体験の機会の場の拡充 ●地域循環共生圏の担い手となる人づくりへの対応 ●ESD活動支援センター(全国・地方)の連絡・調整	調整中	

1	2	3	4	5	6	7	8
情報提供・交換	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託

11 戦略協働 戦略協働 共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略会議など)を行う形態\*  
 12 政策協働 政策協働 共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態\*

1	2	3	4	5	6	7	8	9
情報提供・交換	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託	共同企画立案

10	11	12
実行委員会・協議会	戦略協働	政策協働

- 11 戦略協働 共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略会議など)を行う形態\*
- 12 政策協働 共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態\*

\* 出典「環境保全からの政策協働ガイド」2018、環境省民間活動支援室、GEOC